

緩和策と適応策 リスクとチャンスを考える

2026年1月22日(木) 13:30-16:30

@ ウインクあいち 1302会議室

参加
無料

気候変動は生態系や経済に様々な影響をもたらしており、「適応策」は重要な課題である。このため「緩和策」として「脱炭素社会」構築への取組は、自然再興や循環経済と共に主要な環境施策として位置づけられている。一方で気候変動は危機であると同時にチャンスでもある。サステナブルな地域やビジネスが「選ばれる」時代となっている。緩和や適応の取組を通じて、地域の資源（強み）を活かして地域の課題を解決し、地方創生につなげていくことが期待されている。

地球温暖化対策の「緩和」と「適応」を融合した地域づくりとして、今回は「リスクとチャンス」を取り上げ、愛知県民として、「今」そして「今後」、何をすべきか、何ができるか、を考える。

プログラム

挨拶

愛知県環境調査センター 研究監 横井 歩

愛知県気候変動適応センターの取組

愛知県環境調査センター 企画情報部長 林 陽一

基調講演

「気候変動：リスクか、チャンスか」

国立研究開発法人 国立環境研究所 気候変動適応センター 副センター長 上田 健二 氏

話題提供

「地域の恵み繋いで育てる バイオマスエネルギー循環」

愛知県半田市環境課主事 片山 高也 氏

「脱炭素が当たり前の地域課題に対応した交通のあり方」

公益財団法人 豊田都市交通研究所 研究部長 山崎 基浩 氏

「エネルギーで地域強靭化も・農地活用ソーラーシェアリング」

一般社団法人 中部ソーラーシェアリングやろまい会 代表理事 北井 久美絵 氏

会場交流トークセッション 「緩和策と適応策、地域におけるリスクとチャンスを考える」

コメンテーター：上田 健二 氏 片山 高也 氏 山崎 基浩 氏 北井 久美絵 氏 福井 弘道

コーディネーター：環境省中部環境パートナーシップオフィス 原 理史

閉会

挨拶

愛知県地球温暖化防止活動推進センター センター長、中部大学教授 福井 弘道



気候危機対策交流フォーラム

参加申込方法

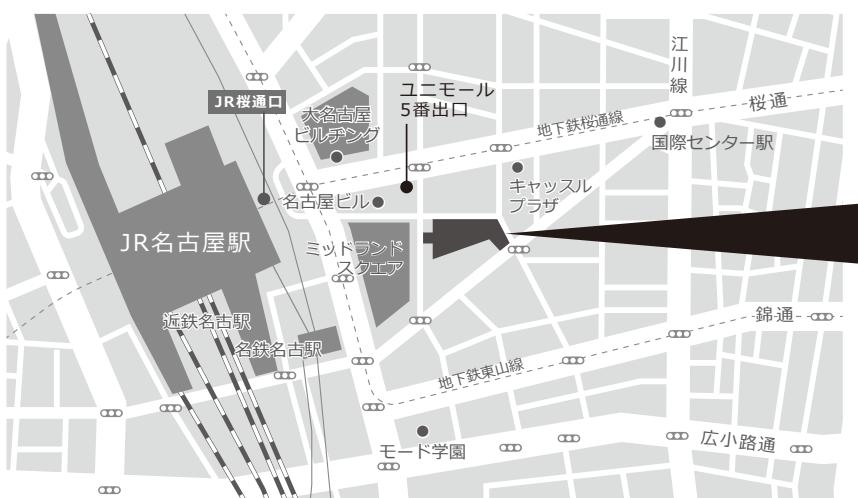
メール または FAXでお申し込みください。

- ▶ メールでのお申し込み：件名欄に「気候危機対策交流フォーラム」と記載し、
 - 申込者の氏名・連絡先(電話 または FAX)・所属等(個人 または 所属先)
 - 参加人数および同行者の氏名 を記入し、送付してください。
 - ▶ FAXでのお申し込み：下枠内に必要事項を記入のうえ、本紙1枚を送信してください。
- ★ いずれも締め切りは2026年1月16日(金)です。

申込者	フリガナ		
	氏 名		
	連絡先	電話 :	FAX :
	所 属 <small>いずれかに✓をつけ、 自治体・推進員等については、 所属先の名称をご記入ください。</small>	<input type="checkbox"/> 個 人 <input type="checkbox"/> 自治体 : _____ <input type="checkbox"/> 推進員 : _____ <input type="checkbox"/> その他 : _____	
同行者	参加人数	申込者を含め _____ 名	
	同行者氏名		

申し込み・問合せ先：一般社団法人 環境創造研究センター
メール cca-info@kankyosoken.or.jp / FAX 052-932-7296
TEL 052-934-7295 ※ 電話は、お問合せのみを受け付けます。

会 場



ウインクあいち

名古屋市中村区名駅四丁目4-38
<https://www.winc-aichi.jp/>